

防 火 衣 及 び 防 火 帽  
仕 様 書

鳥 取 県 西 部 広 域 行 政 管 理 組 合 消 防 局

# 防火衣仕様書

## 総 則

この仕様書は、鳥取県西部広域行政管理組合消防局（以下「当局」とする。）において調達する、消防吏員の防火衣（上下式）について規定する。この防火衣は、消火活動・救助活動等における現場活動において、安全性・運動機能性の向上、またヒートストレス軽減を考慮し、上衣丈はショートタイプとし、ズボンについてはハイエストタイプとする。外衣と中衣からなる多層構造とし、立体デザインの上衣とズボンとする。外衣と中衣は着脱可能なものとする。防火衣上衣は単体で、防火ズボンは当局活動服ズボン着用で、ISO11999-3 タイプ 1、及び消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン(2022.3 改定版)に準拠したものとする。また、血液・体液を媒介とする感染症病原体から隊員を保護するため、透湿防水層には、JIS T8060D 及び JIS T8061D に規定されている人工血液バリア性、ウイルスバリア性試験においてクラス6レベルに適合する素材を用いること。

以下記載の参考品、または当局が認める同等品であること。

参考品 (株)赤尾製 EmuFighter DIA

## 1 使用材料

### (1) 主材料

事項		要求性能等
(防火衣 表地)	品番	一般隊員用 : X27A20(NB3) X21A49(RE3) 高度救助隊員用 : X27A58(OR3)
	品名	エクスファイター® イヤリップ®
	組織	特殊織(タイヤメント® リップ® ストップ®)
	密度	タテ 47 本以上(2.54cm 間) ヨコ 42 本以上(2.54cm 間)
	混率	メタ型アラミド® 82±5% パラ型アラミド® 18±5%
	質量	235±15g/m <sup>2</sup>
	燃焼性	残炎時間 1 秒以下(測定方法:JIS L 1091 A1 法) 余じん時間 1 秒以下(測定方法:JIS L 1091 A1 法) 炭化面積 10c m <sup>2</sup> 以下(測定方法:JIS L 1091 A1 法)
	制電性	7μC 以下(測定方法:JIS L 1094 摩擦帯電電荷量測定方法)
(防火衣 表地)	色相	本体部 : 一般隊員用 ネイビー 配色部 レッド® 配色位置に関しては別図参照 : 高度救助隊員用 オレンジ®
	染色	原液着色
(防火衣中衣生地)	組成	・透湿防水層又は裏地には不織布を用いないこと ・透湿防水層及び裏地(遮熱層)の2枚の生地で構成すること
(防火衣中衣生地) (透湿防水層)	組成	アラミド® 100%基布にゴア クロステック®メンブレン®をラミネートしたもの
	耐水圧 (上衣・ズボン共)	初期及び洗濯 20 回 294Kpa 以上 (測定方法:JIS L 1092 フィルム面加圧目皿使用)
	透湿度	800g/m <sup>2</sup> /h 以上 (測定方法:JIS L 1099 B2 法)
	人工血液バリア性・ ウイルスバリア性試験	レベル6 クラス (測定方法:JIS T8060D 及び JIS T8061D)
(防火衣中衣生地) (遮熱層兼裏地)	その他	透湿防水層目止めテープ(シームテープ)については透湿防水膜と同様の素材(PTFE)を用い、完全に目止めを施すこと
	組成	アラミド®を主体とした難燃生地とする
	組織	上衣用)特殊膨れ織り:空気層を形成する構造であること

	ズボン用)平織:パラ型アラミドを格子状に配したリップストップ
質量	上衣用) 130±15g/m <sup>2</sup> ズボン用) 160±15g/m <sup>2</sup>
色相	上衣用)濃紺 ズボン用)濃紺(格子部は生成り色)

## (2) 補助材料

使用箇所等	素材・規格
内袖口	アラミド 100%ニット
面ファスナー	幅 25mm・50mm・38mm(FAR 難燃・撥水・制電性を有するもの)
反射テープ	一般隊員用：蛍光イエロー×シルバー×蛍光シルバー 約75mm巾・50mm巾 高度救助隊員用：蛍光オレンジ×シルバー×蛍光オレンジ 約75mm巾・50mm巾 軽量化、及び通気性確保の為、ハンチング加工を施したもの。 上下両端には縫糸保護、及び視認性向上の為、蓄光材を含有したシリコンゴムにてコーティングを施すこと
ファスナー	YKK 製ファスナー つまみを取りつけること
サスペンダー	ゴム製テープ 幅 38mm 黒色
押しホック	真鍮製 #7050
縫製糸	メタ型アラミド 40番(防火衣生地と同系色とする)
冷却材ポケット	ナイロンメッシュ 黒色
補強布 (袖口・膝当て・ズボン裾)	アラシールド 黒色もしくは同等のもの

## 2 縫製

### (1) 全般

- ア 各部の縫い合わせは良好であること。
- イ 糸調子は良好であること。
- ウ 縫い代は約1cmとし表地はオーバーロックを掛け縫い始めと縫い終わりは返し針を施すこと。
- エ 各部の縫製は防水構造を用いた縫製とする。

## 3 上衣

### (1) 身頃

- ア ショートタイプの上衣とする。
- イ 前身頃のバギ協合わせはオーバーロックを掛け地縫いして片倒し飾り縫いとする。
- ウ 左前身に幅10cmの前立付きとし前立内側に面ファスナー及びコイルファスナーを縫い付ける。
- エ 右前身頃に面ファスナーとコイルファスナーを付ける。コイルファスナー下端部に合わせて持出用つまみ(外衣共生地)をつける。
- オ 左右前立側面に共生地を使用したマイクハガーを水平に取付ける。寸法は約2.5×12cmとし、センター部分で2分割とし、外側は押しホックで止めとする。
- カ 後身頃は2枚仕立てとし、裾部についてはロングテールタイプとする。
- キ 前身頃(V字)・後身頃背中(縦使い2本)・裾に反射テープを縫い付ける。(概要図参照)
- ク 見返し上部にバギを入れ中衣着脱のコイルファスナーを付ける。
- ケ ポケット上部には裏面に力布として透湿防水層を縫い付ける。
- コ 右身頃内側に口幅約16cm、深さ18cmの携帯電話等収納用ポケットを取り付ける。(止水ファスナー等の防水構造とする。)
- サ 右前身頃見返し下部に片布を取付ける。
- シ 左脇身頃下部の左側はスリット仕様とする。
- ス 両胸ポケット下部の適宜な位置に、物掛け用の共生地を使用したループを取り付ける。
- セ 左袖にリップストップ用面ファスナー台座(黒)を取り付ける。

ソ 後身頃背中の適宜の位置に指定する文字を入れること。  
背文字：「鳥取県西部消防局/TOTTORI SEIBU FIRE DEPARTMENT」（概要図参照）

(2) 襟

- ア 表及び裏に共布を用いた一枚襟とし、芯地を入れ、地縫いの上飾り縫いをする。
- イ 襟巾は後中心で約 11cm とする。
- ウ 襟の前部にはストラップが取付けてあること。
- エ 襟付けは防水構造を用いた縫製とする。
- オ 表襟中央に襟吊りとサイズマークを付ける。

(3) 袖

- ア 袖は特殊バギを用いた 4 枚袖とする。
- イ 運動性を良くする為に後袖山にダーツを設ける。
- ウ 袖口は手の甲側が長くなるように斜めカット仕様とする。
- エ 袖口にアラミト素材のジャージと浸水防止用透湿防水層を縫い付ける。
- オ 袖口には擦れ防止用として幅約 3cm の補強布(アタシルト)を二条縫いにて縫い付ける。
- カ 袖口より約 10cm 上に反射テープを縫い付ける。
- キ 袖口に中衣止め用押しホック付ナイロンテープを左右各 2 個取付ける。
- ク 右袖の適宜の位置に指定する文字を入れること。  
「TOTTORI SEIBU」（概要図参照）
- ケ 左袖の適宜の位置に 7.5 cm×20 cm の面ファスターを取付ける。

(4) 裾ポケット

- ア 雨蓋付き三方風巾ポケットを左右身頃に付ける。
- イ 雨蓋ポケットは、左右ともに 2 分割とする。
- ウ ポケットは左右ともに通常とする。
- エ 雨蓋は芯地を入れ、面ファスターを付け地縫いの上飾り縫いとする。
- オ ポケット下端に反射テープを縫い付ける。
- カ ポケット底部に水抜き穴を設ける。
- キ ポケット内側に警笛用ループを取付ける。

(5) 胸ポケット

- ア 両胸に雨蓋付き三方風巾ポケットを縫い付ける。
- イ 雨蓋ポケットは左右ともに 3 分割とする。
- ウ ポケット底部に水抜き穴を設ける。
- エ ポケット内部の適宜な位置にループを取り付けること。有効幅は 6 cm×2 cm。

(6) 肩当て

内側にパッドを取り付けること。

(7) 中衣

- ア 中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地からなり、各々を重ね縫いすること。
- イ 肩部に難燃フェルトを(遮熱層兼裏地)縫い付ける。
- ウ 両脇及び背中の 3 か所に保冷材収納用ポケットを縫い付ける。ポケット生地はメッシュとする。また保冷剤は上部から入れる形状とする。(保冷剤は 2 個のみ付属とすること。)
- エ 透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いをし、シムテープで目止めをする。
- オ 右前身頃下部に取り扱い表示、及びサイズマークを縫い付ける。
- カ バイヤテープで身頃及び袖口を始末し、外衣着脱用コイルファスターを付ける。

4 ズボン

(1) 身頃

- ア ハイウエストタイプ of ズボンとする。
- イ ズボンの形状は、最初から「く」の字の様に曲がっているデザインとしてベルトとサスペンダーにより支持するものとする。
- ウ 内股部・脇部に運動性を良くするための特殊バギを入れる。
- エ 脇縫い・内股縫い・尻縫いは裁ち目にオーバーロックを掛け、地縫いをして片倒し飾り縫いとする。

(2) 前立て

- ア 前立てはコイルファスターと面ファスターの併用仕立てとし押しホックで止める。

- イ 押しホックの裏側には透湿防水層の当て布を付ける。
- (3) 膝部
- ア 運動性を良くする為に膝部はバイヤス裁ちにする。
  - イ 膝部に補強布(アシールト<sup>®</sup>)を縫い付けること。
- (4) 腰部
- ア ハイウエスト内側部には補強として難燃フェルトを挿入し、ハイウエストの倒れこみ防止措置を講じること。
  - イ 前身頃上部に外衣共生地でサスペンダー受け金具支持台を縫い付ける。端末部分はか止めをする。
  - ウ サスペンダーはホルスター型とする。
  - エ 腰裏地に中衣着脱のコイルファスターを付ける。
  - オ 左腰裏に片布・サイズマークを縫い付ける。
- (5) 腰部調整ベルト
- ア ベルト通しを5本縫い付ける。
  - イ ベルト幅は約38ミリとし、腰の両側で確実に締められる構造であること。
  - ウ ベルトが抜けないように先金(樹脂製)付きとする。
  - エ 締め付けた後に緩まないように片面ファスターで固定できる構造であること。
- (6) 防火衣用ベルト通し
- ア 防火衣ベルト通しを5本縫い付ける。
  - イ 後ろ側3箇所及び前側右1箇所については有効幅9cmとする。
  - ウ 前側左1箇所については二重ループとし、上部のループの長さを調整できる構造とする。
- (7) 大腿部ポケット
- ア 両大腿部に雨蓋付二方風きんポケットを設けること。
  - イ 雨蓋ポケットは左右ともに分割なしとする。
  - ウ ポケットのマチの配色はレッドとする。
  - エ ポケット下部には鳩目穴(水抜き穴)を設けること。
  - オ 雨蓋は面ファスター開閉式とする。
  - カ 両ポケットの上部に物掛け用のループを共生地で縫付ける。
- (8) 裾
- ア 両裾から約10cm上の位置に、反射テープを2段で縫い付ける。(50mm巾)
  - イ 裾部は擦り切れ防止のため、補強布(アシールト<sup>®</sup>)を縫い付ける。
  - ウ 裾口脇側に開閉コイルファスターを取付ける。
  - エ 裾口に絞り用フラップを取付ける。
  - オ 中衣固定のため、押しホック付ナイロンテープを左右各2個取付けること。
- (9) 中衣
- ア 中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地からなり、各々を重ね縫いすること。
  - イ 透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いシームテープで目止めをする。
  - ウ 膝部に難燃フェルトを(遮熱層兼裏地側)縫い付ける。
  - エ バイヤステープで腰部及び裾口を始末し、外衣着脱コイルファスターと面ファスターを付ける。
  - オ 左身頃上部に取り扱い表示・片布・サイズマークを取付ける。

## 5 寸法表

### (1) 上衣

	S	M	L	LL	3L	4L	5L	BM	BL	BLL	B3L	B4L
着丈	69	71	75	79	83	87	91	75	79	83	87	91
胸囲	116	120	124	130	136	146	156	124	130	136	146	156
裾回り	119	113	117	123	129	139	149	117	123	129	139	149
衿丈	77	80	83	86	89	92	95	78	81	84	87	90
袖口幅	16	16	16	16	16	20	20	16	16	16	20	20
腕回り	49	50	50.5	51	52	54.5	57	57.5	59	61	66	70

### (2) スボン

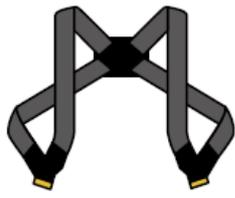
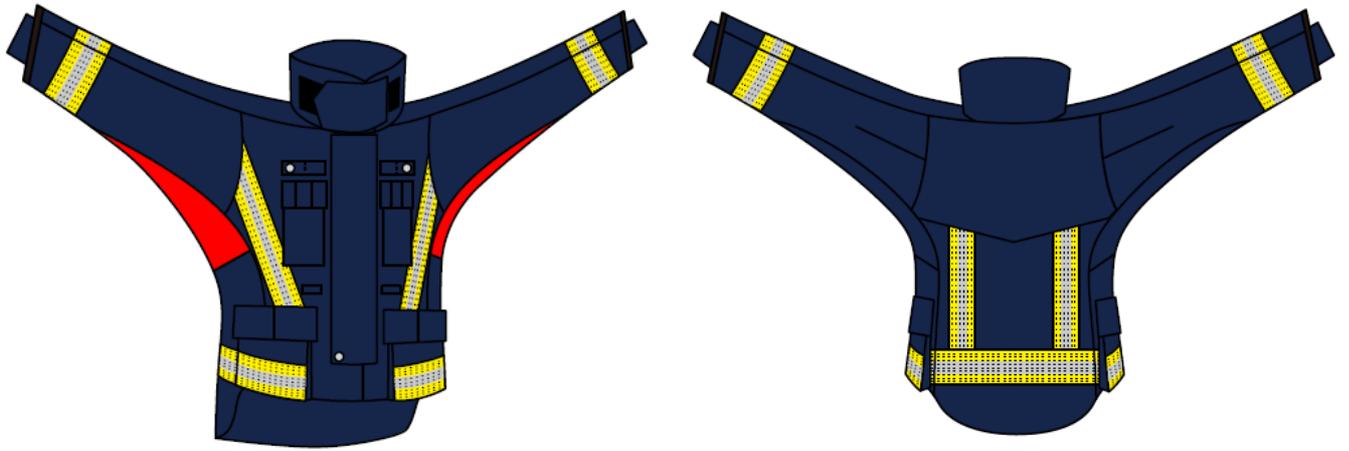
	W75	W80	W85	W90	W95	W100	W110	W120	W130	W140
ウエスト	75	80	85	90	95	100	110	120	130	140
股上	33	33	34	35	35	36	37	38	39	40
股下	5 cm <sup>レ</sup> ッチで対応すること									
渡り幅	36	36	37	38	39	40	43	46	49	52
裾幅	21	21	21	21.5	22	22.5	23	24	25	25

## 6 その他

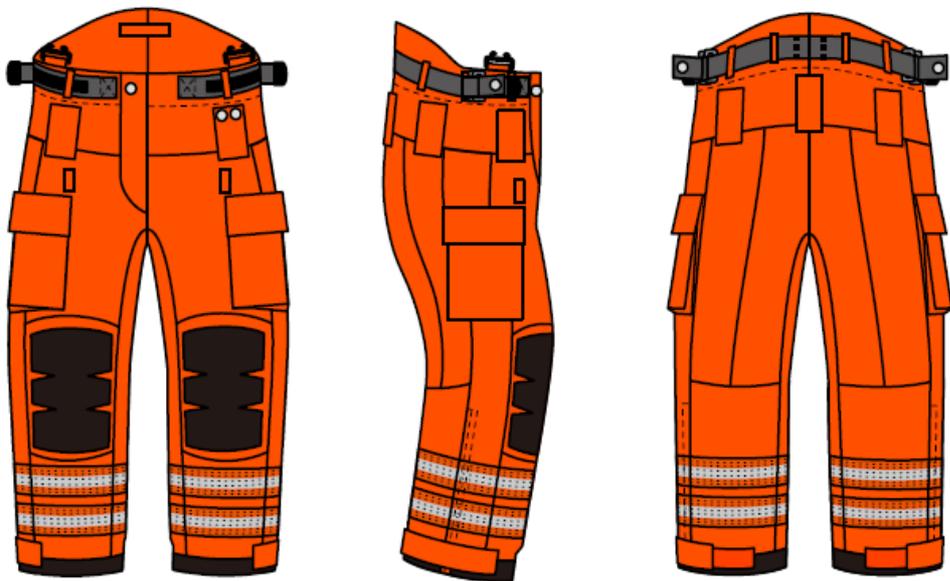
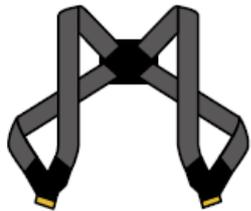
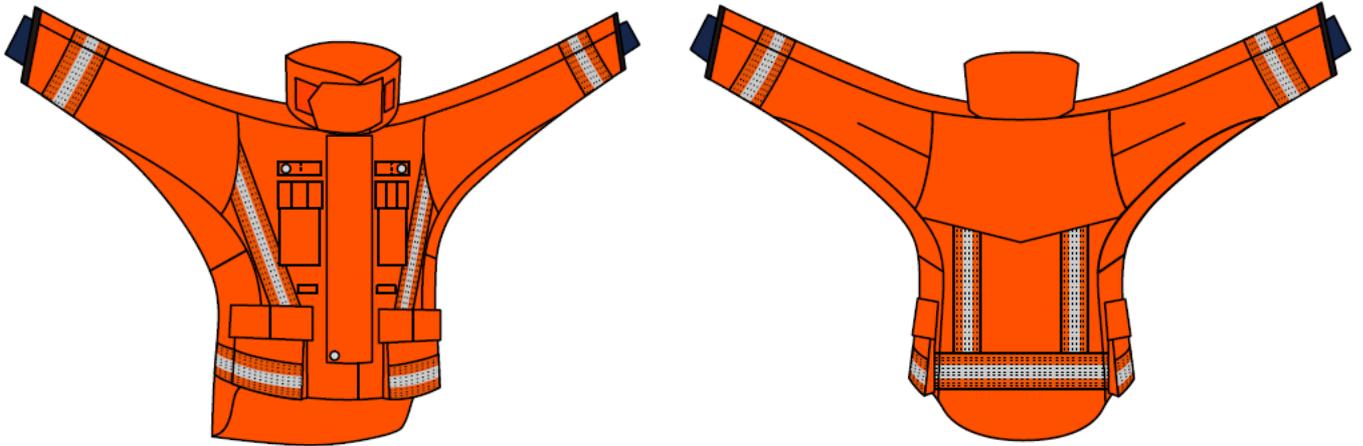
- (1) この仕様書の解釈は当局によるものとする。
- (2) 同等品は当局が認めるものとし、詳細については別途協議する。
- (3) 仕様書に記載がない部分については当局と協議するものとする。
- (4) 当局が必要と認めた場合、落札業者は証明書類等を提出すること。
- (5) 納入数と同数の当局保有防火衣を廃棄すること。
- (6) 防火衣のサイズ及び色の指定については当局担当者が別途指示する。

7 概要図

一般隊員用



高度救助隊員用



背中文字（一般隊員用）



背中文字（高度救助隊員用）



右袖文字（一般隊員用）



右袖文字（高度救助隊員用）



# 防火帽仕様書

## 総 則

この仕様書は、鳥取県西部広域行政管理組合消防局（以下「当局」とする。）において調達する、消防吏員の防火帽（しころ付）について規定する。この防火帽は、総務省消防庁発行の消防隊用個人防火装備の防火帽ガイドライン（消防消第66号 平成23年5月6日公示）に準拠し、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第42条の規定（以下「労安法」とする。）に基づく保護帽の規格（平成3年厚生労働省告示第39号）に適合するものとし、製造・組み立てについては日本工業規格表示認定工場（J I S 認定工場）で行うものとする。

## 1 規 格

規格等は、表1，2のとおりとする。

## 2 性 能

帽体については、超軽量で、自己消火性を有したもので、試験方法等については、表1のとおりとすること。

## 3 構 造

### (1) 概要

この防火帽は超軽量であり、銀色の帽体表面に指定の消防署用前章【特殊樹脂製】を強固に貼り付け、左右に消防局名を入れたものとする。内側に衝撃吸収ライナー、ヘッドバンド等の装着体及び可動式の顔面保護板を取り付け、帽体下部の外周部にしころを取り付けられ、さらに、左右のドットボタンを利用した、ヘッドランプ取付用ベルトを付属するものとする。また、物体の飛来または落下による危険及び墜落による危険から装着者の頭部を保護する構造及び性能を有し、頭部の動きによるぐらつきが少なく、装着中に不快感がないこと。

### (2) 形状等

#### ア 帽体

##### (ア) 本体

- a 帽体左右デザイン図のとおりとする。
- b 表面は滑らかで、堅牢であること。
- c 外面は、銀色焼き付け塗装を施し、さらに表面をクリア塗装仕上げとする。

##### (イ) 周章

帽体周囲に階級線（赤スコッチ反射テープ）を形状に合わせ貼り付けること。

##### (ウ) 徽章等

帽体前面中央に、特殊樹脂製消防章を貼り付ける。（前章図のとおり）

##### (エ) 消防本部名表示

帽体左右には、黒文字を指定の寸法にて「鳥取県 西部消防局」と表示する。

##### (オ) 掛け金具

帽体後部中央に半月環状の掛け金具を取り付けること。

##### (カ) ヘッドランプ取付ベルト

幅25mmのナイロンテープと同サイズのアジャスターを使用し、サイズ調整

可能なヘッドランプ取付ベルトを、2本1組として付属する。

(キ) 識別章台座

帽体左右側面に識別章台座を取り付ける。(詳細は担当者と別途協議すること)

イ 着装体(着装体略図のとおり)

(ア) ハンモック

かぶり深さを調整できる、補助ハンモック付きとする。

(イ) ヘッドバンド

ダイヤルラチェット方式により、頭回りに応じて、概ね53cm～63cmまでの範囲で、着装時にも容易に調節が可能で、フィット感も高い構造とする。

(ウ) しころ取付板

a しころ取付用として、帽体に取り付けること。

b しころ取付板には、押しホック(オス)を6個取り付けるものとする。

(エ) 頭頂パッド

頭部全体にクッション性、吸水性及び耐久性に優れた素材を内装体全体に着脱可能な方法で取り付けること。

ウ あご紐

(ア) あご紐は、片側をワンタッチバックルで着脱できるものとし、反対側を二重リングで締め付け、容易に着脱が出来、ぐらつきのない、確実に締め付け出来るものとする。

(イ) 二重リングには、あご紐と同素材を用いた、つまみを取り付け、締め付けたあご紐を、スムーズに開放できる構造とする。

エ 着装体固定リベット及びヘッドランプ取付用押しホック

(ア) 着装した状態で、着装体固定リベットと、着装者の頭部が直接接触しないこと。

(イ) 左右前方の内装固定用リベットを利用し、ヘッドランプ取付用押しホック(オス)を取付ける。

オ 顔面保護板

(ア) 前面からの注水に対し顔面を保護できる構造とし、視界の妨げとなる、ゆがみ等がないこと。

(イ) 帽体から円滑に引き出せ、引き出した状態でぐらつきを防止するロック機構をもうけること。

(ウ) 下側端面はアクリル系エラストマー製の縁ゴムで保護すること。

(エ) 収納した状態で、中央部の下がり10mm以下とし、両端は視野の障害とならないこと。

#### 4 その他

(1) 不明な点がある場合は、担当者と打ち合わせすること。

(2) 契約業者は、試作品を作成し当局の指示を仰ぐこと。

(3) 産業財産権(特許及び実用新案等)に抵触する問題等が生じた場合は、受注者側においてこれらの問題に対し、責任を持って解決することとする。

(4) 階級線の指定については、当局係員が別途指示する。

表 1

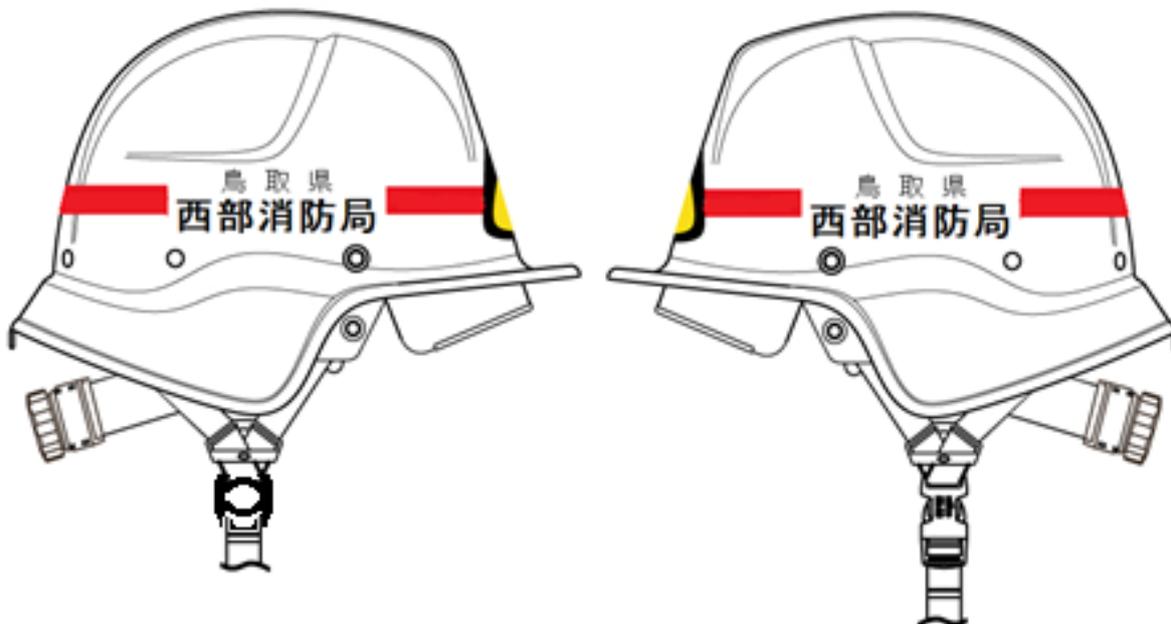
## 防火帽の規格等一覧

項 目		規 格 等
帽 体		ガラス繊維と PBO 繊維を基材としたポリエステル樹脂による軽量強化プラスチック製 (ハイブリット構造)。
衝撃吸収ライナー		発泡スチロール、またはこれと同等の衝撃吸収性能を有するもの
着 装 体	ハンモック	ポリエチレン成形品、白濁色
	補助ハンモック	
	しころ取付板	ポリエチレンシート材
	ヘッドバンド	前頭部：ポリエチレン成形品 後頭部 (ラチェット部)：ナイロンほか
	補助ハンモック 調整ひも	ポリエステルまたはナイロン製、白色、350mm以上
装着体固定リベット		防食性を有する金属性
あご紐		ナイロン製、幅19mm厚さ1.5mm
あご紐 ワンタッチバックル		ポリアセタール製、黒色
あご紐二重リング		防食性を有する金属性
顔面保護板		ポリカーボネート板 (両面をハードコートしたもの)、無色透明 縦 (有効長) 138mm以上 横 (周長) 240mm以上 厚さ 1.5mm以上
体の自己消火性		残炎・残じん時間：5秒以下 プロパンガス (純度95%以上) をブンゼンバーナー (口径10mm) を使用して、青色炎が20mmとなるように調節して燃焼させ、帽体のつば後部中心から左右50mm、縁から20mmの位置を試験点とし、帽体のつばを水平に保持し、炎の先端を試験点に15秒間当てた後、炎を取り去り、帽体の残炎・残じん時間を測定する。
重 量		730g以下

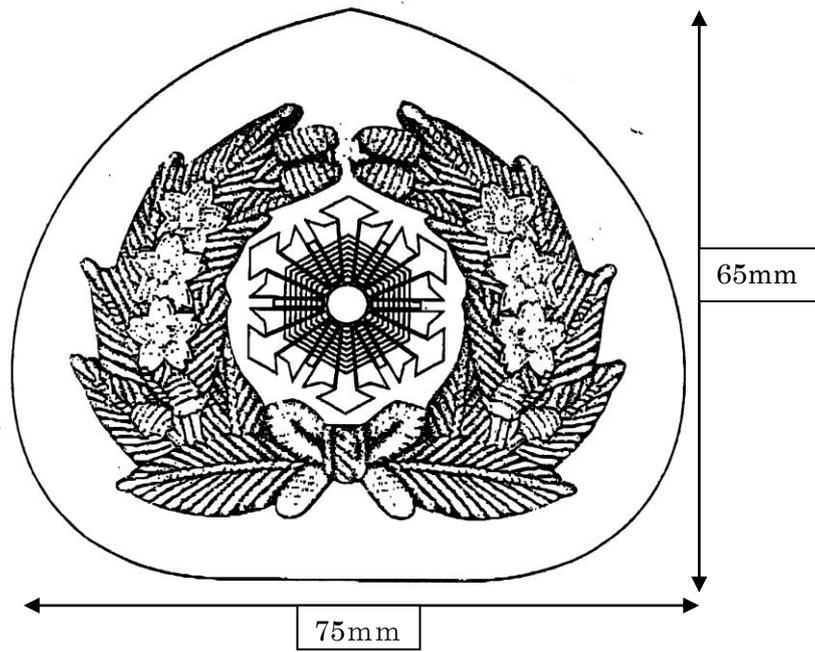
表 2

部品名		規 格 等
帽 体	消防局名	着帽して左右適宜の位置に「鳥取県 西部消防局」と文字を入れる。
	周章	赤スコッチ反射テープ
	前章	特殊樹脂製 消防署章（高さ65mm、幅75mm）見本参照
	掛け金具	黄銅製（ニッケルメッキ）または同等の強度及び防食性を有する金属製
ベ ル ト	ヘッドランプ	ナイロンテープ（25mm幅）
	取付用	YKK LA-25S（25mm幅用）
	ベルト	ドットボタン モリト SS7050 ステンレス製（ゲンコ及びバネ）

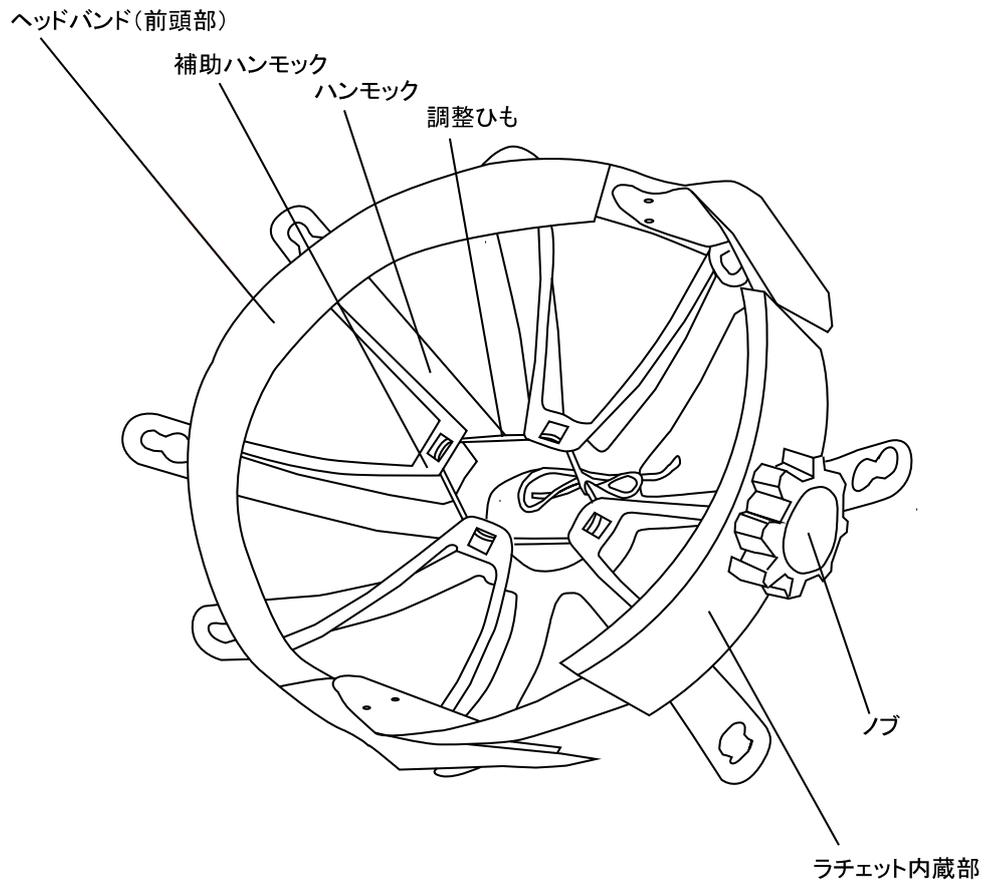
帽体左右デザイン図



前章図



着装体略図



## しころ仕様書

### 1 使用素材

表素材は表3のとおりとする。裏素材はウール 95%以上の紺色厚手のメルトンを使用し、中間には透湿防水布を使用する。

表 3

部 品 名	規 格 等			
表 素 材	種 類	防炎リップストップ パラ系芳香族ポリアミドの牽切糸を芯にメタ系芳香族ポリアミドをカバリングした二重構造糸からなる織物。		
	組 織	平織（リップストップ）		
	構成率	メタ系芳香族ポリアミド 73.5% パラ系芳香族ポリアミド 26.0% 導電性繊維 0.5%（標準）	JIS L 1096	
	番 手	(経) 2 / 3 2	JIS L 1030	
		(緯) 2 / 3 2		
	密 度	(経) 50本 / インチ間以上	JIS L 1096	
		(緯) 42本 / インチ間以上		
	引っ張り強 度	(経) 2000N 以上	JIS L 1096	
		(緯) 1800N 以上		
	引裂強力	(経) 220N 以上	JIS L 1096 D 法	
		(緯) 200N 以上		
	染色堅牢度	汗	4級以上	JIS L 0848
		耐 光	4級以上（40時間）	JIS L 0842
	燃焼性	炭化長	(経) 4cm以下	JIS L 1091 A-4 法
			(緯) 4cm以下	
		残 炎	(経) 0秒	JIS L 1091 A-4 法
(緯) 0秒				
重 量	240g / m <sup>2</sup> 標準		JIS L 1096	
ピリング	4 級 以上 10時間		JIS L 1076 A 法	
色 相	ネイビー（一般隊用） オレンジ（救助隊用）			
加 工	超撥水加工＋帯電防止加工（有機導電繊維織込み）			

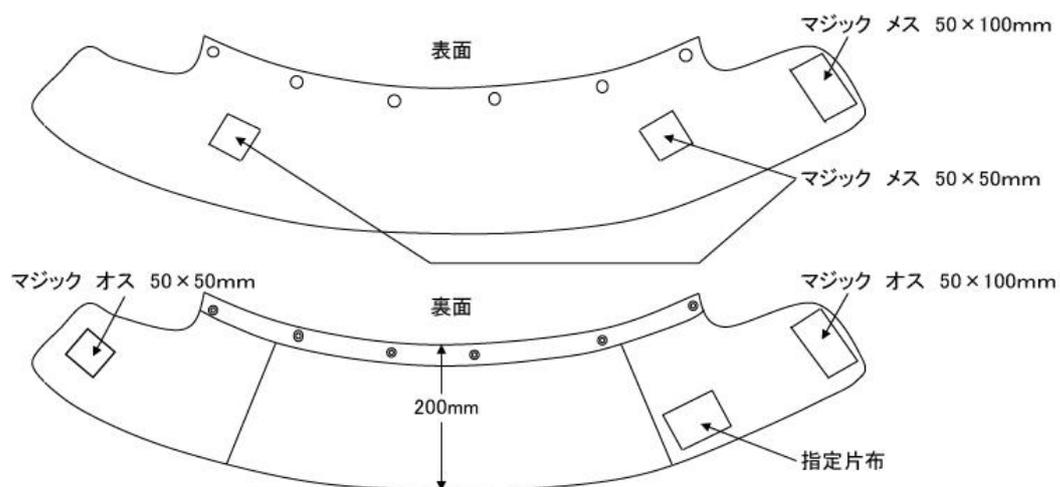
## 2 縫製

- (1) 各部の縫い合わせは、上下糸のつれ、たるみのないこと。
- (2) しころの丈は中央部分で200mmとする。
- (3) 縫製に際し、縫い飛び、縫いはずれが無いこと。
- (4) 縫い始め、縫い終わりは、縫い止め及び返し縫を十分に行う。
- (5) 各部の仕様は、仕様図に基づき、誠実に縫製すること。
- (6) 前あわせは50mm×100mmの共色マジックテープを使用する。
- (7) 前あわせ折り返しは三つ巻きとし、50mm幅マジックテープ止とする事。

## 3 その他

- (1) しころの色相については、当局係員が別途指示する。
- (2) 納入数と同数の当局保有防火帽（しころ付）を廃棄すること。

HST-002用三つ巻しころ 仕様図



年 月 日

## 入 札 書 ( 第 回 )

鳥取県西部広域行政管理組合管理者 様

鳥取県西部広域行政管理組合財務規則（平成8年鳥取県西部広域行政管理組合規則第3号）第2条において準用する米子市契約規則（平成17年米子市規則第43号）、鳥取県西部広域行政管理組合会計規則（令和3年鳥取県西部広域行政管理組合規則第7号）第2条において準用する米子市会計規則（平成17年米子市規則第44号）を承知の上、次のとおり入札します。

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

件 名	防火衣及び防火帽の納入
納 入 場 所	鳥取県西部広域行政管理組合消防局
入 札 金 額	金 円 <span style="font-size: 1.2em;">〔 防火衣40着、防火帽40個分の総額 〕</span>

### 注意

- 1 入札書は、封書にし、封筒表面に「入札書在中」と表示し、裏面に件名、住所、商号又は名称及び代表者氏名を記載すること。
- 2 入札金額は、消費税及び地方消費税を含めない金額とし、算用数字を使用してください。なお、入札金額の訂正はできません。

年 月 日

## 辞 退 届

鳥取県西部広域行政管理組合管理者 様

住 所

商号又は名称

代表者氏名

⑩

下記の入札物件について、第 回目の入札を辞退します。

### 記

- 1 件 名 防火衣及び防火帽の納入
- 2 開 札 日 年 月 日
- 3 辞 退 理 由

年 月 日

## 入札物品確認書

鳥取県西部広域行政管理組合管理者 様

住 所

提出者 商号又は名称

代表者氏名

印

下記の入札物件について、次のとおり確認書を提出します。

### 記

- 1 件 名 防火衣及び防火帽の納入
- 2 開 札 日 年 月 日
- 3 入 札 物 品

※ 該当する項目の□をチェックしてください。

- |   |
|---|
| <p><input type="checkbox"/> 仕様書に定める規格で入札に参加</p> <p><input type="checkbox"/> 仕様書に定める規格以外の同等品で入札に参加(組合の認定が必要)</p> <p>【添付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・見本又は商品</li><li>・材料および規格を証明する資料</li></ul> |
|---|

(仕様書に定めるもの以外の同等品で入札に参加する場合の認定結果等)

認定結果は、令和7年5月21日(水)正午までに電話又はファクシミリにより回答いたします。

なお、不適合となった場合は、令和7年5月22日(木)正午までに同等品の再提出を行い、再認定を受けることを認めることとします。

○郵便入札封筒貼付用様式（表面）

※一点鎖線部分を切り取り、長3封筒に貼付してご使用ください。

配達日  
指定郵便

配達指定日

令和7年6月2日（月曜日）

入  
札  
書  
在  
中

〒689-3403

鳥取県米子市淀江町西原1129番地1

鳥取県西部広域行政管理組合

事務局総務課 入札財政担当 行

○郵便入札封筒貼付用様式（裏面）

《入札書の郵送にあたっての注意事項》

- 1 当組合が入札案件ごとに定める配達日を必ず郵便局で指定してください。
- 2 差出日と配達指定日には、あいだ2日間が必要となります。
- 3 「特定記録郵便」「一般書留」「簡易書留」のいずれかの方法で郵送してください。
- 4 入札書1件につき、封書1通を使用してください。

入 札 番 号	広消26
案 件 名	防火衣及び防火帽の納入
差出人 住所 商号又は名称 代表者の職氏名	※

※ 必ず記入してください。記入のないものは無効となります。